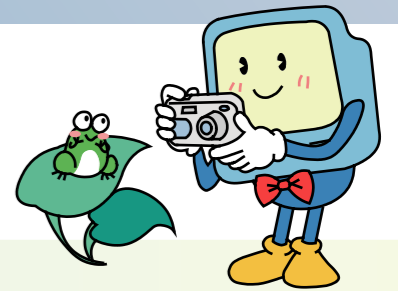


デジタルカメラ



撮影テクニック!!



「手ブレ」を防ぐカメラの構え方 安定した姿勢でカメラを構えよう。

とくに暗い場所では、「手ブレ」がおきやすくなるよ。



両手で
しっかりと持つ。

わきをしっかりと
しめて、
静止させる。



中腰の場合は片ひざをつく。
足は肩はばくりに開き、
少し前後にずらす。

手ブレを防ぐ さまざまな方法

- 三脚(または一脚)を使う。
★代わりに傘などを使って
も安定するよ。
- ストラップを使って固定させる。
- 壁や木に寄りかかって体を安定させる。
★寄りかかる時は、後ろに気をつけてね。
- 机や台などの上にカメラを置いて、安定させる。



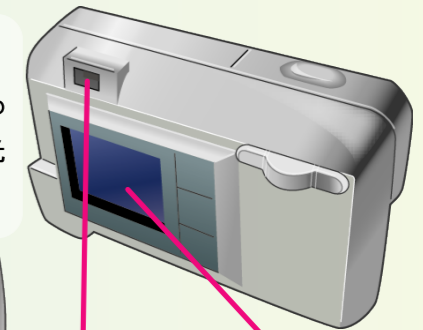
デジタルカメラ各部の名前とはたらき

シャッターボタン

シャッターボタンをお
押すことで、写真
を撮影するよ。
軽く押す(半押し
する)と、ピントが
合うようになって
いるよ。

ストロボ(フラッシュ)

暗いところを撮影する
時に、瞬間的に強い光
を出す装置だよ。



ファインダー 液晶ファインダー

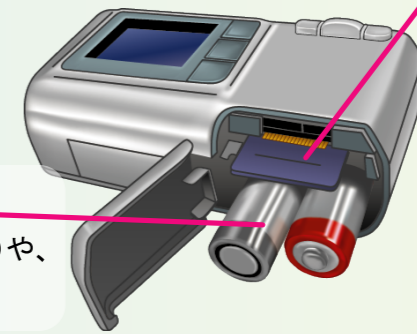
撮影する時に、写真全体の構図を確認する
装置だよ。液晶ファインダーは、撮影し
た写真を確認することもできるよ。

レンズ

写したい風景や被写体からの光を受け取る装置だよ。
レンズが汚れていると写真も汚れが写ってしまうので、レンズに手がふれないように気をつけよう。

電池

デジカメによって、専用の電池(バッテリー)や、
乾電池が使えるものなどがあるよ。



記録メディア(メモリーカード)

撮影した写真を保存するよ。
デジカメによって、コンパクトフラッシュやSD、xDなど、さまざまな種類の記録メディアがあるんだ。
記録メディアの記憶容量が多いほど、撮影できる枚数が多くなるよ。

★撮影に出かける前に、電池、記録メディア(メモリーカード)が入っているか、確認しよう!



場面ごとにさまざまな構図の写真を撮ろう! 「引き」と「寄り」を使い分けよう。



建物や風景などの
全景がわかる構図



活動の様子が
わかる構図



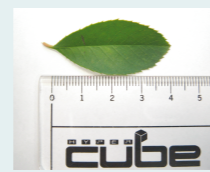
人物の表情が
わかる構図

引き

寄り



接写モード(マクロモード)って何?



ふつうの撮影モードより、近くに寄って撮影することができるよ。
虫や植物など、小さなものでも大きく撮影できるんだ。

- ★大きさがわかるように、定規などを置くといいよ。
- ★撮影後は、モードを元に戻すのを忘れずに。



「逆光」だって大丈夫! 光が差す方向を意識して、「順光」と「逆光」を撮り比べてみよう。

太陽の光の方向にカメラを向けた状態(逆光)で被写体が暗く写ってしまう時は、昼間でもストロボ(フラッシュ)を使おう! 被写体が明るく写るよ。



ストロボなし



ストロボを使用

「逆光」だからこう写す!



わざと逆光で撮影。
影絵のようにする。



逆光を利用することで、
あざやかに写す。

覚えておきたいカメラ用語

- 撮影... 写真を撮ること。
- 撮影者... 写真を撮る人。
- 被写体... 写真に写される人や物。
- 構図... 被写体や背景などの写真の画面構成。
- 順光... カメラの後ろから被写体に向かって光が差している状態。
- 逆光... 被写体の後ろからカメラに向かって光が差している状態。

写真撮影の時のやくそく

- 撮影禁止の場所では写真を撮らない。
- ストロボ(フラッシュ)使用禁止の場所では、ストロボを使わない。
- 人を撮影する時は、相手に撮影の許可をもらってから撮る。
- 撮影する場所の様子を考え、シャッター音やストロボの光に気をつける。

